

テレビ通販で ロングセラーの美顔器 「ユビタマゴ」

自分のコリは自分でほぐすための HOGU シリーズ。

「ユビタマゴ」「MUNZ!(ムンズ)」「背・BONE (セボン)」

「モンデリング」「HOGU 泡 (石鹸)」



「自分が好きか。いくらなら買うか、
自分がやる必要があるかを考えます。」

2007年、社長の三輪氏は「自分が欲しいから」という理由だけで「ユビタマゴ」の試作品を作った。金型製作などの経費はすべて持ち出した。2008年11月に自社サイトで発売を始めたが売れず、監修者である伊藤整体師の整体サロンでの販売にも限界があった。三輪氏は大手量販店に飛び込み営業をかけたが取り扱ってもらえず思案に暮れていた時、近所の美容院に置いてもらえることになった。委託販売だが対面販売だったことが功を奏し、すぐに10個が売れた。足立区他の理美容師たちにも紹介してもらえ、取扱店が増えて、それなりに売れた。これが2009年2月のことだ。

同年5月、理美容院に出入りしている全国ネットの商材屋の目にとまった。急に万単位の受注が舞い込んだが、量産などは想定外だったため1か月待ちとなり、それが「ヒットゆへの品薄か?!」という印象につながった。

そして、地上波のメディアでも取り上げられ、いよいよジューピターショップチャンネルの目に留まる。同年7月、第1回目の放映では、

30分枠で800個が売れた。そして以降は1時間枠として合計110回以上も紹介されるロングセラー商品となった。

現在でも、同社の売上額では、既存の受託加工が7割、HOGUシリーズは3割にすぎない。しかし利益率は自社商品のほうがよいという。少々卸値が厳しくても、メーカーとして卸すため利益は残る。三輪氏は、「自分が好きか。いくらなら買うか、自分がやる必要があるかを考えます。損益分岐点なんて、やってみなければわかりません」と笑顔で語る。「身の丈にあった挑戦を続ける」。それが同社の成長を支えている。



サロンのマッサージに近い効果がある美顔器を、整体師の伊藤賢治氏監修のもとに開発。商品設計もサイトもすべて社員の力作だ。



本社ショールーム。HOGUシリーズでは4つの特許も取得。



HOGUシリーズの商品コンセプトや名称は三輪氏が考案。



エミダスペース



「HOGUシリーズ」
公式サイト

ミツワ株式会社
代表取締役社長 三輪隆一
〒121-0831 東京都足立区舎人 1-16-12
TEL : 03-3899-1477
URL : <https://www.hogu.tokyo>
社員 : 10名